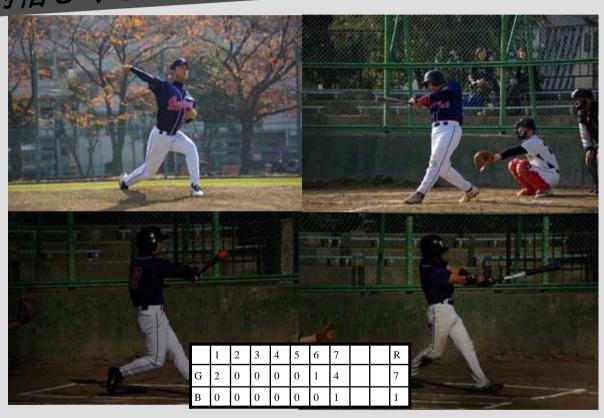


第40号 平成21年12月13日

梶原待望の大きな1発!

## 志村惜しくも完封勝利を逸



11/28(土)KSCプレーオフ1回戦が、東京は谷中公園野球場にて、東京Brother sと行った。道中、高速 で、渋滞に嵌った時点では、開幕時間に間に合うかの心配も有ったが、渋滞区間を通過してから、スムーズに流れ、 無事現地に到着出来た。今日は先攻、先頭打者が打った初球の打球は、軟式独特の回転打球、その処理に一塁手が手 間取った間に、出塁、その後2盗、2番の哲也が、左越2を放ち、先ず先制、続く深沢が3球目をきっちり左中間を 抜き、2点目、この2点が後半まで、大きく響いた。先発は志村、先頭打者に中前安を放たれたが、後続をきっちり 抑え、6回まで行進、そして最終回に大きくゲームが動いた。「代打俺」と告げたキャプテン政司が2球目に左前安で出塁、続く哲也の中越2で、一塁ランナーは、一挙3塁へ、そして、前の打席で、右越2を放ち気を良くしている 梶原に回った。その梶原への初球、甘いコースに来た初球を迷わずスイング、打球は、高く張られたネットを越え、 今期初のスリーランで、今日のゲームを決定付けた。また、打撃不振の泉もきっちり右に運んだ。その裏の最終回、 予選リーグも完封試合を行っただけに、今日もかと思った1死後、相手スコアボードに1が入ってしまった。相手打 線の中で、志村にタイミングが合っていた、1番打者に4球目、カウント1-2の4球目に梶原同様、左柵越えを放 たれ、自責点1を記録した。今日のゲームは、やはりリーグ1位で通過して来ただけに、常に予断を許さなかった。 しかし、それに輪を描け、我がチームも締まったゲームが出来たと思う。取るとき時に、点を取る。守らなければな らない時に、一丸で守る。こういうゲームが常に出来れば、連勝街道が築けるのに・・・ でもそんなに野球は甘くない。恐らく準決勝は、翌年になるだろうが、勝ってかぶとの緒を締め、来年のこの大会に

備えたい!